

1 第4期「ひょうご教育創造プラン」（令和6年度～10年度）

【基本理念】 兵庫が育む ところ豊かで自立する人づくり

【重点テーマ】 『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成

【基本方針】 (1) 予測困難な時代を生き抜く力をはぐくむ教育の推進

(2) すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築

(3) 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

2 加東市教育の基本理念（第3期加東市教育振興計画 令和3年度～令和7年度）

人間力の育成

～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

【めざす人間像】

- ・夢や志を持ち、生涯を通じて学び続け、自立し力強く生きる人
- ・加東を愛し、共に支え合いながら、未来を切り拓いていく人

【めざす子ども像】

- 「知」：自ら学ぶ子 自分を活かす子
「徳」：個性豊かな子 自他を大切にする子
「体」：たくましい子 ねばり強い子

4 本校の教育方針

(1) 校訓

自立 寛容 不屈

(2) 学校教育目標

向上心

— 共に学び、夢に挑む自立した子どもの育成 —

(2) 教育基本方針

近年、国内外で社会情勢が急速に変化し、教育を取り巻く環境も複雑多岐になっている。これまでの当たり前の日常が当たり前でなくなる現実を私たちは日々経験している。一方で、ICTやAI等先端技術の急速な進歩は、私たちの暮らしに様々な変化をもたらしている。そのような予測困難と言われる時代の中で、未来を生きる子どもたちには、9年間の義務教育を通して「なりたい自分」「ありたい未来」を胸に抱き、自己のみでなく主体的に他者と協力・協働しながらその実現に向けた課題を発見・解決し、新たな価値を創造する、しなやかに、たくましく「生き抜く力」を育んでいきたい。

施設一体型小中一貫校として開校した本校には、これまでは、社、福田、米田、三草、鴨川の5つの小学校をはじめとして規模や環境がそれぞれ異なる小学校で学んできた児童と中学生が一つの学び舎に集い、新たな学習集団として教育活動を始める。日本語指導を要する子どもを含め特別な支援を要する児童生徒も増加傾向にあり、子どもたち一人ひとりの実態はもちろん、子どもたちを取り巻く生活・社会環境にまで目を向けた指導が必要である。また、不登校やいじめ防止対策等重大かつ学校だけでは解決困

難な教育課題もあり、小学校・中学校の教職員が一層連携を密にしていくことはもちろん、関係機関の指導支援の下、コミュニティスクールとして家庭や地域との連携を図りながら丁寧に取り組んでいくことが不可欠である。

小中一貫教育においては、日常のかつ身近に中学生の学びの姿を見て小学生が憧れの心を抱き、逆に、中学生が幼い小学生に対して思いやりや慈しみの心を醸成したり、9年間の連続性や系統性のある教育活動を通して、小・中学校の垣根が低くなり、中学校での学校不適應や学習意欲の低下を軽減したりするなどの教育効果が期待される。一方で、小学校高学年でのリーダー性の育成などこれまで小学校において継続的計画的に進められてきた教育活動への配慮も必要である。

これらのことから本校では、将来的な4－3－2のステージ制による小中一貫教育への移行を前提として、施設一体型小中一貫校の特長を生かしつつ小学校課程と中学校課程の教育活動を展開していく。そして、子どもたちの主体的な「学び」の原動力となる「向上心」を教育目標とし、異年齢交流や体験学習、協働学習やICT機器の活用等による仲間たちとの学び合いなど、「ひと・もの・こと」の「つながり」を通して「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく身につけさせ、困難があっても自らの力で未来を切り拓こうとする子どもの育成を目指す。

(4) めざす学校像：**学び合い、笑顔あふれる学校**

- 子どもたちが楽しく学べる安心・安全な学校
- 教職員がいきいきと教育活動ができる学校
- 保護者・地域から信頼される学校

(5) めざす子ども像：**「生きる力」を身につけ、自立する子ども**

- 自ら学び、よく考えて行動できる子ども
- 豊かな心で、自分も他者も大切にできる子ども
- 明るく健康で、たくましく生きる子ども

(6) めざす教師像：**人間力に富み、子どもの成長を保障する教師**

- 教育の専門家として自覚と使命感を持ち、常に自己を高めようとする教師
- 明るく元気で、子どもや保護者の思いに寄り添うことができる教師
- 礼儀正しく、人権意識を高く持って他者と接することができる教師

5 学校経営の重点（重点施策）

(1) 「子どもたちが楽しく学べる安心・安全な学校」にするために

- 小中一貫教育の有効性を最適に生かす9年間を見通した系統性あるカリキュラムの推進
- 規律ある学校生活の意識高揚と徹底（学習規律の徹底、校則の順守、ノーチャイム制）
- 家庭学習の習慣化、読書活動の定着に向けた取組みの推進
- 協同学習の手法を取り入れた豊かな対話のある、よくわかり、よく考える授業づくり
- ALTや校種間交流による外国語教育の充実
- 学園会活動など異年齢交流による人間関係づくり
- 互いの良さや違いを認め合い、安心して過ごせる学年・学級集団づくり
- 健康・安全等個に応じた指導上の配慮しながら、子どもたちの自主的・自発的な取組みを引き出すクラブ活動・部活動の実施
- 新体力テストから見える課題解決に向けた体力・運動能力の向上
- 発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 道徳教育、人権教育、防災教育、安全教育の充実
- 他者を思いやり、いじめを許さない心情の醸成
- 修学旅行を機会とした平和学習の推進

- 子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 家庭・地域と連携し、学校給食を活用した望ましい食習慣の定着と、「早寝」「早起き」等基本的な生活習慣の実践による心身ともに健康な体づくり
- 子どもたちの自発的・主体的な参画による特別活動の実施
- 情報モラルの徹底と情報活用力（「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」）の育成
- 人間的なふれあいに基づく子どもの多面的かつ共感的理解や教師間の緊密な情報共有、行動連携による組織的な生徒支援・指導体制の徹底（予防的・開発的生徒指導の推進、不登校対策等学校不適応防止の取組）

(2) 「教職員がいきいきと教育活動ができる学校」にするために

- 定時退勤を意識した計画的な業務遂行の推進
- 校務・業務の IT 化、PDCA サイクルに基づいたスクラップ＆ビルドによる業務改善の推進
- 記録簿による勤務時間の把握と割り振り変更の適正な実施
- 教職員個々の能力や適性を生かすハラスメントの無い心の通い合う職員集団づくり

(3) 「保護者・地域から信頼される学校」にするために

- HP や学校だより、学級だより、生徒指導通信等を通した保護者や地域への情報発信
- 地域人材や地域資産を活用した体験学習の充実
- 「かとう学」を活用したふるさと学習の推進
- 学校運営協議会や学校オープン等を通した保護者や地域住民の教育活動への参画
- 教職員の非違行為禁止等綱紀粛正の徹底
- 学校評議員会や保護者アンケート等の結果に基づく学校改革の推進

6 教育課程編成の基本方針

- (1) 法令及び新学習指導要領（平成 30 年版）、ひょうご教育創造プラン、県教委「令和 7 年度指導の重点」、加東市教育大綱、第 3 期加東市教育振興基本計画の示すところに従う。
- (2) 生徒の実態や発達の特性、保護者や地域の願いをふまえる。
- (3) コミュニティスクールとして、校区の特性を生かしつつ、これまでの各小中学校での教育活動の成果と課題をふまえながら、本校ならではの特色ある教育活動を位置づける。